平成25年度
Ver.25.12.19

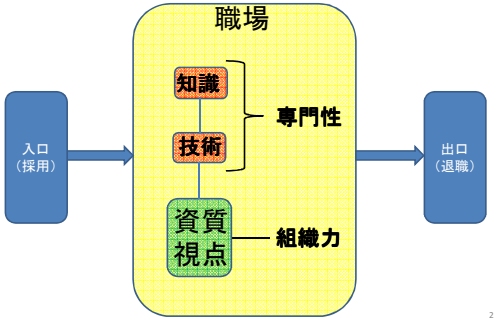
職員資質育成への取り組み

～理念の浸透と組織力の向上を目指して～

特別養護老人ホームしおさいの里
参事　小菅

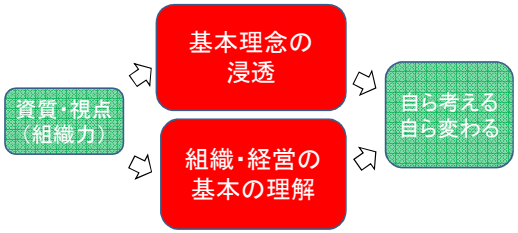
1

Ⅰ．取り組んだ課題



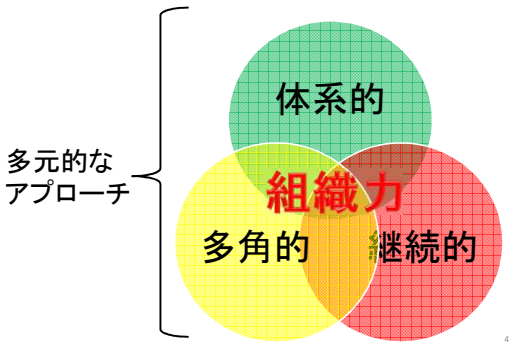
2

1．資質・視点（組織力）とは何か



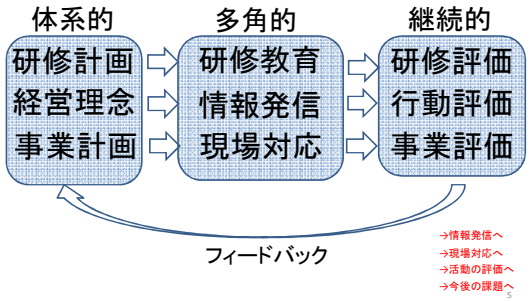
3

2．理念の浸透と組織・経営の理解



4

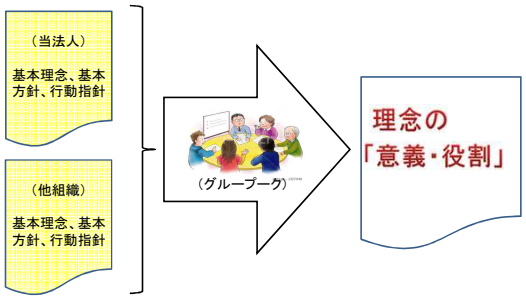
3．多元的なアプローチの内容



5

Ⅱ．研修教育＿1

1.理念の浸透

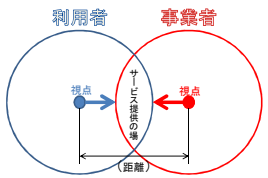


6

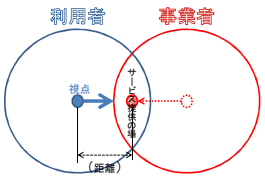
2. 理念の浸透（まとめ例）

利用者視点と事業者視点を考える

自分の中心に視点がある



サービス提供の場に視点を置く



7

Ⅲ. 研修教育＿2

1.組織・経営の基本の理解

組織とは何か？

組織に必要な要素は何か？

（グループワーク）

組織に必要な要素の確認

経営との結びつきの確認

8

2. 組織の要素と経営とのつながり

（まとめ例）

組織の要素

- （目的）— 事業計画（年度、中長期）
- （ルール）— 規程、規則
- （集団）— 指示命令系統 チームワーク 分業

→多元的なアプローチの内容へ

9

Ⅳ. 情報発信

H25年度全国老祉協広報コンテスト優秀賞受賞

→多元的なアプローチの内容へ

10

Ⅴ. 現場対応

- 理念、基本方針に基づいた会議、カンファレンスの遂行

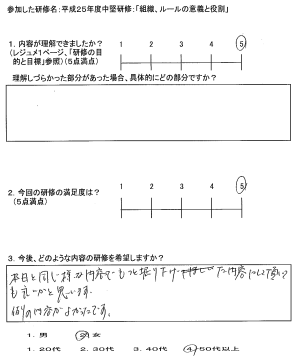
- 事業計画の遂行

→多元的なアプローチの内容へ

11

Ⅵ. 活動の成果と評価

研修教育評価（受講者評価）

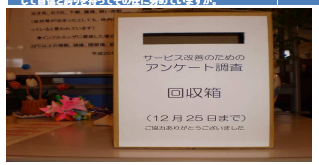


12

行動指針の達成度評価（利用者評価）

下記の項目は、当複合施設（上越領域福祉会）の行動指針（職員として行動すべき基本的方針）が示されています。当職員はこの指針に基づき、日々の対応に努めることとされていますが、あなたは職員と接してみて、どのようにお感じになられますか。該当する番号に○をつけて下さい。

項　目	強くそう思う	そう思う	やや思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
①職員は、ご利用者様に対し、いかなる差別・虐待・人権侵害を許さず、人間としての権利の擁護に努めていますか。	5	4	3	2	1	
②職員は、ご利用者様が心身ともに健やかに日常生活が送れるように努めていますか。	5	4	3	2	1	
③職員は、ご利用者様一人ひとりのプライバシーを守り、それぞれのニーズに基づく生活の支援に努めていますか。	5	4	3	2	1	
④職員は、ご利用者様一人ひとりの「できる力や意欲」を引き出す支援に努めていますか。	5	4	3	2	1	
⑤職員は、ご利用者様に対し朗らかな笑顔と暖かい気持ちで接し、信頼をいただける存在になることに努めていますか。	5	4	3	2	1	
⑥職員は、専門的サービスの提供者として責任を自覚するとともに、互いを尊重し、協力しながら、心のこもったサービスの提供に努めていますか。	5	4	3	2	1	
⑦職員は、自己研さんに努めるとともに、上越領域福祉会の一員として自信と誇りを持ってその任に努めていますか。	5	4	3	2	1	



→当法人の理念体系へ

13

事業評価（自己評価）

平成25年度特別養護老人ホームしおさいの里事業実施状況ならびに自己評価票

（4月～9月）

評価基準（A：十分な取り組みとなっている　B：やや取り組みが不足　C：取り組み不十分）
今後の取り組み（A：維持向上に努める　B：取り組みの改善、工夫を検討、次に活かす
C：取り組みの抜本的見直し）

重点目標	具体的取り組み事項	中間評価・コメント		今後の取り組み
①個別ケアの充実に向けての取り組みを強化する。	a.施設サービス計画の充実を図る（アセスメント、実施、モニタリング、個別援助計画等の充実）。	A・[B]・C	アセスメント、実施、モニタリングの一連は確実にできている。統一したサービスを提供できるように、援助方法を変更した時は個別援助計画を修正するよう働きかけ、以前に比べると修正できるようになってきている。上記を徹底することで、更に活用できると思われるため、取り組みを継続していく。	A・[B]・C
	b.栄養ケアマネジメント及び個別機能訓練（リハビリテーション）の充実を図る。	A・B・C	給食業務への取り組みがあり、栄養ケアマネジメントへの取り組みにおいては中々不十分な取り組みであった。機能訓練は個々に合わせ十分な取り組みを行なえている。	[A]・B・C
	c.個別ケアを重視し一人ひとりに寄り添う介護サービスの更なる充実に努める。業務中心の発想から利用者中心の発想に基づいたサービスの展開に努める。	A・B・C	利用者一人ひとりを見つめ、生活の場としての役割を果たすべく、個別の支援に取り組んでいる。新職種間で意識し、利用者やご家族が満足感を感じる取り組みができるようサービスの充実を図っている。利用者の声に耳を傾けより質の高いサービスの展開を今後も継続していく。	[A]・B・C

→多元的なアプローチの内容へ

14

Ⅶ. 今後の課題

・監督職の役割の拡大、変化への対応

（これまで）サービス提供現場のまとめ役

↓

（今後）経営・組織の連結役、仲介者

↓

（将来）組織力向上の推進役

15

備考1. 研修・教育の内容

1. 理念研修の内容

- 理解度の確認
  （憶えている、意識している）

- 理念の意義・役割を探る
  （グループワーク）

- 他組織との比較で考える
  （某自動車メーカーを参考に）

16

備考2. 当法人の理念体系

「基本理念」
人と人とのつながり、地域のひろがりに貢献します

「基本方針」
ご利用者様の視点に立った質の高いサービスの提供に努めます（一部抜粋）

「行動指針」
7項目を列挙

→行動指針の評価へ

17

備考3. ルールの理解（説明例）

- ルールの一般的な役割
- 経営メッセージとしてのルール
  （Ex.資格取得のための特別休暇）
- 当法人のルール

→多元的なアプローチの内容へ

18